

「地域を支える建設業」検討会議

第43回全体会議

分科会資料

- ① 技術力の確保・向上 分科会資料No.1
- ② 維持管理・危機管理 分科会資料No.2
- ③ 施工・品質確保 分科会資料No.3

「地域を支える建設業」検討会議

令和3年度 第1回 技術力の確保・向上分科会 報告（概要）

1 開催日時 : 令和3年7月19日（月） 10:30～12:00

2 開催場所 : 長建ビル 5階 会議室

3 議 事 :

（1）建設現場の働き方改革について

・県から、「週休2日工事の実施状況について」説明。

※週休2日工事の実施希望率は平成30年度31%、令和元年度48%、2年度59%と着実に増えていると言う説明があった。

※週休2日のそもそもの意義、目的について意見交換した。

また、取り組むに当たっての課題として、昨年のアンケート結果（経費、労務単価、工期等）、下請企業の実施や加点評価の問題等について意見交換し、県から継続して課題を整理し目標設定したいとの回答があった。

・協会から、「令和3年度長野県建設業協会における建設現場の働き方改革の取組について」説明。

（2）建設業における就労促進について

・県から、「建設系学科高校生等の就労促進の取組について」、「中学校の職場体験学習と連携した取組みについて」説明。

※県から、高校生への支援授業は3年生対象だが2年生からの実施を学校に依頼している事や、普通科高校への取組として屋代高校新聞班との交流について説明があった。

※協会から、高校生の離職率が高い理由、地域企業実態の学校の理解不足、暑さ指数を導入して現場を中止する提案、技能者の表彰制度の創設、書類が多く技術者が苦勞している、等を説明し意見交換した。

・協会から、「令和3年度建設業における就労促進の取組について」説明。

（3）その他

・知事と青年部会・女性部会との意見交換会について、県から説明。

第36回維持管理・危機管理分科会 結果報告(概要)

- 1 開催日時 : 令和3年7月12日(月) 13:00~15:00
- 2 開催場所 : 長建ビル 5階会議室
- 3 報告事項及び打合せ事項について (アンダーライン部分は協会からの意見・要望等)
県からの主な内容の説明は次のとおり
 - (1) 災害時における応急対策業務に関する協定について
 - ・ 県と協会支部との細目協定の改定に伴う締結の進捗について報告(15支部中7支部で締結済み)。
 - ・ 市町村と県建設業協会支部との新たな協定の締結について、素案の内容や市町村へのアンケート結果等を報告。9割の市町村が締結の意向を示している。
 - ・ 協定の締結にあつたって建設事務所が窓口となり、市町村と支部との調整を図るための会議を7月中に実施する予定である。
 - 地元に建設会社が存在しない町村もあり、また、大規模な災害のイメージがわからない場合もあると思われ、会議では丁寧な説明をお願いしたい。
 - (2) 包括民間委託試行ブロックの検討について
 - ・ 令和4年4月から一部地域で試行するに当たっての状況報告
 - ・ 総合評価落札方式における当番登録の加点の廃止を行う。なお、災害時応急活動の実績における加点については継続する。
 - (3) 長野県災害情報共有システムについて
 - ・ 当システムの概要について説明。
災害時に被災状況を現地機関や県庁と迅速に情報共有できるシステムとして構築している。シンプルな操作で撮影写真が地図上にアップされるもの。現在は職員で利用し表示方法等について改善をおこなっている。フリーアプリを活用し協会の方も写真投稿が可能。ただし、利用には制限がある。
 - 当協会のシステムは、災害の発生状況を把握するとともにコミュニケーション機能もある。県のシステムを協会が活用可能か小委員会で勉強するための機会を作って欲しい。
 - (4) 令和2年度除雪業務について
 - ・ 雪の状況、除雪費の推移、令和2年度の取り組み実績、令和3年度に向けた検討内容、課題解消に向けた考え方について説明。
 - 除雪の最低制限補償は、国の動向を注視しながら、制度のあり方について検討を進めるとのことだが、待機補償費さらなる充実についても、県の考えを示してほしい。
 - 後継者育成について研究を進めるとのことだが、免許取得の費用の補助も検討願いたい。

4 その他主な意見交換

- 県現地機関と関係市町村、県協会支部合同による、災害発生を想定した、有効と思われる訓練を実施していくことを提案したい。
← 訓練は必要と考えている。検討していきたい。
- 大規模地震発生時の道路パトロール訓練の実施予定と当協会が運用しているシステムの利用について、確認したい。
← 今年度も実施予定である。「道路河川等管理情報システム」の利用を基本と考えていたところであるが、県協会でも、システムの改修を検討していると聞いており、「長野県災害情報共有システム」の利用も含めて相談させてもらいたい。
- 「災害発生時の応急対応に関する体制強化要領」について、毎年、県協会本部が各支部の強化体制を取りまとめて県に提出しているが、支部が直接現地機関へ提出した方がより綿密に情報共有を図ることができると思われるため、見直しを検討願いたい。
← ご指摘のとおり、現地機関と支部の情報共有を図ることが重要である。また、JVによる維持管理体制や災害時における応急対策業務の充実が図られてきているため、この「災害発生時の応急対応に関する体制強化要領」の抜本的な見直しを含めて検討してまいりたい。

令和3年度 第1回「施工・品質確保分科会」報告（概要）

- 1 開催日時：令和3年7月6日（火）13:15～14:40
- 2 開催場所：長建ビル5階会議室
- 3 議 事 （アンダーライン部分は協会からの意見等）
 - (1) ICT活用工事等への取組みについて
 - ICT活用工事実施状況は令和元年度が57件、令和2年度は65件であった。令和3年度は建設部発注の全工事を対象とし一部活用も可とする。ICT活用に関する補助制度もあるので紹介する。
 - 協会としても現場視察を予定したいため、情報提供を依頼した。
 - (2) BIM/CIMの推進について
 - ・信州BIM/CIM推進協議会の体制強化について
 - 建設業協会として「BIM/CIM専門委員会（15名）」を設けた。
今後、「信州BIM/CIM推進協議会」へ参加しながら知識技術の向上を図りたい。
 - ・県内における建築分野での取組みについて
 - 建築に関しては、今後研究検討を深めながら、推進の方向性を検討して参りたい。
 - (3) 今年度の技術者セミナーの実施について
 - 令和2年度は3月に動画配信で実施（CPDS取得なし）。今年度は、CPDS取得を含め、開催方法について10月までに検討したい。なお、CPDSの総合評価の加点については、令和4年度について加点していく予定と説明あり。
 - 委員からは、CPDSの取得に向けて早めの方針判断を依頼した。また、総合評価での加点方法についてもコロナの影響を考慮したやり方を工夫してほしいと要望した。
 - (4) 優良技術者表彰実施要領の変更について
 - 前回全体会議で示した「発注機関推薦方式」を「成績評価方式」によることとした。これにより企業からの申請書類は不要となり負担軽減となる。今後、実施していく中で関係者の意見を聞き必要があればまた考えていきたい。
 - 委員からは、評価点のみだと現場での苦勞に対する評価やそもそも満点確保が難しい現場があり、課題となりうるのではとの意見が出された。
 - (5) 建設キャリアアップモデル箇所について
 - 今年度協会会員施工の2現場が全国建設業協会のモデル工事箇所として登録され実施状況など調査する予定。協会員のCCUS登録社数は、6月末現在で全体490社中、182社37%が登録している。
 - (6) 設計付き工事の実施状況と課題等について
 - 北陸地整で実施予定の設計・工事連携型工事を紹介。今後設計付き工事の課題などについて調べて参りたい。